



大雨に対応する呼びかけ

雨が強まる前

豪雨災害は、事前の備えが十分可能です。ハザードマップや避難ルートを確認する。避難所への避難か在宅避難かを検討する。気象や避難の情報を得られるようにしておく。敷地の片づけや備蓄の補充をしておく。できることはたくさんあります。「自分が被害にあうことはないだろう」という思い込みをなくすため、対策を呼びかけましょう。

雨が強まる前に地域のハザードマップを確認するなど、近くに危険な場所がないか確認して下さい。

いつでも避難できるよう準備をするとともに、危険を感じたら自主的に避難を始めましょう。

テレビやラジオ、インターネットで、気象庁や自治体からの最新情報を確認し行動して下さい。

暗くなると避難が難しくなります。危険な場所にいる人は、明るいうちに避難場所や頑丈な建物の上の階など安全な場所へ移動して下さい。安全な地域に住む親戚など頼れる人がいれば、そこへの避難も考えて下さい。



自治体からの情報が間に合わないこともあります。周囲の様子が普段と違ったり危険を感じたりしたら、すぐに安全を確保して下さい。

道路の側溝や排水口にたまったごみや落ち葉などを取り除き、物を置かないで下さい。水が流れず、浸水の危険性が高まります。

水が入り込むのを防ぐには、土のうや止水板も有効です。台所や浴室、トイレの排水口に、ビニール袋などに水を入れた水のう（すいのう）を置くと逆流を防ぐ効果があります。